

道

2018・7・25

通信 No 1496



《本日の練習曲》 小坂先生
はてもなき荒れ野原（2集—46頁）
ポーリュシカ・ポーレ（プリント）
ロシアの野原（2集—78頁）

《8月1日の練習曲》
中山先生
ステンカラージン（プリント）
道（2集—72頁）

本日発売!! 中山先生の投稿作品が掲載されています。ご紹介します。



あの日々をどう生きたか、手記、手紙、絵、写真
157の体験を収録

《目次》

- I たいせつな人
- II 空から恐怖がふってくる
- III 何と戦っていたのだろう
- IV ふるさとが戦場に
- V 弱き者は守られたか
- VI 遠き丘から
- VII 未来はどっちに

本体価格 2,500円(税別) 本文約 300頁

2018年7月25日発売

今日の片づけは
ソプラノとバス

『暮しの手帖』創刊70周年記念出版

あの日々をどう生きたか。手記、手紙、絵、写真——157の体験これが戦争なのだ。

『戦争中の暮しの記録』（1969年刊）から約50年——。
ふたたび『暮しの手帖』は、戦争体験の手記を募りました。今回は、戦時中の記録に加え、戦後の混乱期のできごと、そして戦後生まれの方には、体験者からの「聞き書き」での投稿も呼びかけました。この募集に応じて届けられた2390通の応募作品から、157点を選び、まとめたのがこの一冊です。本書は、庶民の戦中・戦後の暮らしがわかる貴重な記録であり、あの戦争を生き抜いた方々からの、いのちのメッセージ集です。

入団者
安藤智文さん
神奈川区羽沢町
1月27日生

《会議予定》
8月1日(水) 2時30～
運営委員会
8月29日(水) 4時00～
企画選曲委員会
男性の方委員会の出席をお願いします!